

看護部教育プログラム

	教育コース	目 的	目 標
新人研修	新採用者 オリエンテーション	1. 独立行政法人国立病院機構沼田病院の組織及び役割と機能を理解し、病院組織の一員であることを自覚する 2. 看護の基本的知識・技術を習得する。	1. 病院の理念、組織、役割が理解できる 2. 看護業務における必要な基本的な知識の習得ができる
	新人研修	1. 新人看護師が臨床現場に順応し、看護師としての実践能力を修得する	1. 看護に必要な知識・技術・態度を修得できる 2. 看護過程を理解し受け持ち患者の看護過程が展開できる 3. 医療機器を安全に取り扱うことができる 4. 感染防止のための基本的知識・技術・態度を修得できる 5. 救命救急に必要な知識・技術・態度を修得できる 6. チームにおけるメンバーの役割ができる
実務研修	実務Ⅰ (卒2)	1. 看護実践者としての基本的能力を基盤にして、対象の状況に応じ実践できる能力を養う	1. メンバーシップの基本が理解できる 2. メンバーシップの役割を理解し自己の課題を達成できる 3. 看護倫理に基づいた看護実践ができる
	実務Ⅰ (卒3) (プリセプター)	1. 看護実践者として個性を重視して技術の提供ができ能力を養う 2. 後輩への支援と共にリーダーシップが発揮できる能力を養う	1. 患者を全人的に理解し、患者家族の役割を理解できる 2. 新人看護師の役割モデルとして看護実践できる 3. チームナースングにおけるリーダーシップを理解できる
	実務Ⅱ (卒4～5)	1. 看護実践者として役割モデルを発揮し、看護学生の臨地実習指導者を育成する 2. 固定チームナースングのリーダーシップを理解し、チームリーダーとしての役割を発揮できる能力を養う	1. 看護倫理問題に対する役割モデルが発揮でき、指導できる 2. 医療チームの一員としてリーダーシップが発揮できる 3. 固定チームナースングのリーダーの役割を発揮できる
専門研修	専門コース 1. 看護研究コース 2. がん看護コース	専門職業人として知識・技術・態度を修得し、専門性の向上を図る 1. がん看護の専門的知識・技術・態度を修得し、がん看護実践能力を高める 2. 専門職業人として研究的態度を修得し、看護実践能力を高める	1-1がん治療・看護の専門的知識を基に全人的に看護過程を展開できる 1-2患者の意思決定を支援し緩和ケアを提供できる 2-1 自己の研究テーマを明らかにし、研究計画を立案できる 2-2 研究に取り組み院内・院外に発表できる
	静脈注射	1. 静脈注射の基礎的知識、技術を修得し、安全に実施できる能力を養う 2. 地域看護師の静脈注射に関する業務拡大を図る	1. 静脈注射に関する解剖整理・薬剤知識を理解できる 2. 静脈注射に必要な技術をシミュレーターで用いて実践できる 3. 地域看護師対象の研修会を開催し静脈注射の基本を理解できる 4. 静脈注射の実技を修得し、地域の看護師の業務を拡大できる
中間管理者研修	中間管理者勉強会	1. 組織の中間管理者としての知識技術・態度を習得し、役割を発揮でき組織の目標達成を図る	1. 勤務時間管理に必要な知識を理解でき、実践できる 2. 看護業務の問題を明らかにして解決できる(病院機能評価) 3. 業績評価に向けて、コミュニケーション技術が向上し、各自の目標を達成できる